

【第3号報告】令和4年度事業計画について

令和4年度事業計画

1 総会・専門部会の開催

(1) 総 会 (7月)

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催する。

開催日 令和4年7月6日（水）午後

場 所 レンブラントホテル大分

(2) 看護関連機器開発部会

過去2年度にわたって活動実績がなく、他の事業を通じて看護を含む医療関連機器開発の促進を図っているため、看護関連機器開発部会の活動は廃止する。

(3) 介護・福祉関連機器開発部会

過去2年度にわたって活動実績がなく、他の事業を通じて介護・福祉関連機器開発の促進を図っているため、介護・福祉関連機器開発部会の活動は廃止する。

2 医療関連産業参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業参入促進セミナー

医療機器産業への新規参入や法規制に係る人材育成のため、九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）や大分大学等と連携し、医療産業参入促進セミナーを開催する。

(2) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、大分大学及び東九州メディカルバレー構想推進会議と共に推進大会を開催する。

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会

会員企業の新規の機器開発案件を探すため、大分大学や医療・看護・介護・福祉の関係団体等と連携してニーズ探索会を実施する。

○大分大学ニーズ探索交流会

○協議会医療・看護ニーズ発表会

○介護・福祉ニーズ発表会

（2）医療関連機器開発ビジネスマッチング会

医療機器メーカーへの部品供給やOEM受注に向けて、県内ものづくり企業とのマッチング会を開催する。

（3）医療関連機器等事業化支援プラットフォーム

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発等を行うワーキンググループの活動を支援するとともに、試作品開発に要する経費に対し助成を行う。

ワーキンググループ活動にあたっては、活動の当初に市場調査を実施するとともに、試作品開発において、試作・ユーザー評価を並行するデザインシンキングを重視する。

対象者：会員企業が事業主体となるワーキンググループ

支援数：5グループ程度

支援内容：ワーキンググループの運営、試作品開発の補助

4 研究開発補助事業

（1）医工連携医療関連機器等事業化補助事業

医療・介護・福祉・看護の4分野において、会員企業が新たな医療関連機器やソフトウェア等の事業化に要する経費に対し助成を行う。

対象者：大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員中小企業

対象経費：プラント・機械装置費、原材料費、外注加工・分析費、委託費、共同研究費、人件費、旅費、謝金・報償費、手数料、事務庁費

補助率：補助対象経費の2/3以内

補助金額、採択予定件数：400万円以内 3件程度

募集時期：令和4年4月1日～5月6日

（2）介護福祉機器ラボ施設（新規事業）

支持される（売れる）介護・福祉機器の開発・改良にあたっては、現場の声やニーズが重要であり、現場の声を企業に届け、機器開発の加速化やプラッシュアップの機会創出を目的として実施する。

県内の介護福祉施設から2施設程度を指定ラボ施設として対応を依頼し、企業が開発（試作）した介護・福祉機器を本施設にて試用、現場の評価や意見を企業にフィードバックする。

5 販路開拓・拡大事業

（1）おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

会員企業が開発・製造する医療関連機器の医療・福祉現場への導入を促進するため、県内医療・福祉機関が新たに機器を導入する経費等に対し助成を行う。

対象者：県内の医療・福祉機関等

対象経費：機器導入費（レンタル・リース含む）

補助率：補助対象経費の1/2以内

補助金額：50万円以内

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了
※おおいた産医療関連機器として事前に登録された機器が対象

（2）展示・商談会等

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業が開発した医療関連機器を県内外にPRするため、医療系展示会に協議会ブースを設け、会員企業の共同出展を支援する。

○県外で開催される代表的な展示会を検討

○大分県病院学会

など

（3）販路開拓支援事業

会員企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行う。

対象者：会員中小企業

対象経費：会場借上費、展示品運搬費、印刷製本費等

補助率：補助対象経費の1／2以内

補助金額：20万円以内

募集時期：随時 *予算の上限に達し次第終了

（4）おおいた産製品海外展開支援事業

東九州メディカルバレー構想で掲げるアジアへの貢献、会員企業が開発した機器等の販路開拓のため、タイを中心にASEAN諸国への販路開拓へ向けた支援プラットフォームを設置する。

支援プラットフォームでは、これまでの調査実績やネットワークを活かし、現地での展開開始を見据えた支援を引き続き実施する。

また、HALF IT®ツーリズムを海外の医療関係者に周知を図るため、関係機関に事業PRを行う。

ASEAN諸国の新型コロナウィルス感染症対策の状況を踏まえ、現地での対応力を強化するため、引き続き現地スタッフ雇用による活動を実施する。

（5）大学と連携した海外展開調査委託事業（新規事業）

東九州メディカルバレー構想ではアジアへの貢献を掲げており、海外展開事業に取り組んでいる一方、会員企業から今後の展開に向けた海外のニーズ調査などを行う人材や機会がないとの声があり、将来的な展開可能性のある対象国の調査などの必要性があることから本事業を実施する。

本事業では、立命館アジア・太平洋大学(APU)と連携し、APUの海外ネットワークを活用して、県産医療機器の海外展開の拡大に向けた対象国の調査事業などを行う。

6 コーディネーターの配置

県内医療・福祉機関によるおおいた産医療関連機器の導入を後押しするため、コーディネーター（1名）を配置する。

7 オープンイノベーションの推進

(1) 医療関連機器開発イノベーションプログラム 座談会

医療関連機器に携わる多様な立場の人々（医療・介護従事者、大学など教育機関・ディーラーなど）と会員企業との自由な議論を通じて、人材育成や交流の目的のため実施する（年度内6回程度開催）。

(2) 医療機器評価ラボ（新規事業）

支持される（売れる）医療関連機器の開発・改良にあたっては、現場の声やニーズが重要であり、現場の声を企業に届け、機器開発や改良のきっかけとすることを目的として実施する。

一方、医療機関の現場に直接機器を試験的に持ち込むことにはハードルが高いことから、大分県臨床工学技士会の協力を得て、会員企業が開発又は開発中の製品を第一線の現場で活動する臨床工学技士の目で評価を得る。

(3) 県産医療関連機器の展示交流スペースの設置

県産医療関連機器を展示し、オープンイノベーションに向けた関係者の交流拠点として、「メディバレーおおいた」を活用する。

(4) オンライン展示場を活用した県外メーカーなどの交流

日本医工研究所が提供するオンライン展示場「カンファレンスパーク」を活用し、全国の県外医療関連機器メーカーと関係者との交流を進める。

その他

○大分大学医学部附属臨床医工学センターと医療ロボットダイバーシティ・HAL研究会、一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構等関係団体との連携した取組を推進する。

○東九州メディカルバレー構想の下、宮崎県や福岡県等との近隣自治体との連携した取組を推進する。

【第4号報告】令和4年度当初予算について

令和4年度 当初予算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当初予算額 ①	前年度当初予算額 ②	増減 ①-②	備考
1 負担金収入	66,806,848	87,681,000	▲ 20,874,152	大分県負担金 当初分54,738,848円 緑越分12,068,000円
2 雑 収 入	0	0	0	
当 期 収 入 合 計	66,806,848	87,681,000	▲ 20,874,152	
前 期 緑 越 金	1,708,539	6,721,336	▲ 5,012,797	
収 入 総 合 計 (A)	68,515,387	94,402,336	▲ 25,886,949	

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当初予算額 ①	前年度当初予算額 ②	増減 ①-②	備考
1 協議会運営	995,539	645,000	350,539	
旅費	30,000	0	30,000	役員等旅費
食糧費	30,000	3,000	27,000	他団体イベント交流会費等
その他需用費	115,539	60,000	55,539	消耗品代等
役務費	70,000	68,800	1,200	通信運搬費、手数料
使用料及び賃借料	100,000	43,200	56,800	役員会会場借上料、Zoomライセンス料、サイボウズオフィス使用料等
負担金	650,000	470,000	180,000	大分県工業連合会負担金
2 医療関連産業参入促進セミナー等	3,952,000	1,763,740	2,188,260	
報償費	300,000	300,000	0	セミナー講師謝礼
旅費	192,000	192,000	0	セミナー講師旅費
委託料	1,000,000	0	1,000,000	セミナー開催委託料
食糧費	400,000	102,500	297,500	セミナー交流会費等
役務費	60,000	0	60,000	セミナー開催案内郵送料
使用料及び賃借料	1,500,000	669,240	830,760	セミナー会場借上代
負担金	500,000	500,000	0	HAMIQ会費
3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	8,545,000	8,009,000	536,000	
委託料	8,000,000	7,964,000	36,000	医療関連機器開発ビジネスマッチング会開催業務委託、ニーズ発表会運営業務委託、事業化支援プラットフォーム運営業務委託※試作品開発補助含む
報償費	45,000	45,000	0	
使用料及び賃借料	500,000	0	500,000	臨床工学会出展料、ニーズ発表会会場代
4 研究開発等補助事業	24,655,000	31,633,836	▲ 6,978,836	
報償費	25,000	24,900	100	審査委員謝礼
旅費	0	3,600	▲ 3,600	審査委員旅費
補助金	22,910,000	31,605,336	▲ 8,695,336	実用化補助(※令和3年度の医工連携医療関連機器等事業化推進事業の緑越を含む)
委託料	1,720,000	0	1,720,000	介護福祉実証ラボ施設への委託費用
5 販路開拓・拡大事業	22,880,000	40,650,760	▲ 17,770,760	
委託料	10,604,000	27,330,000	▲ 16,726,000	海外展開プラットフォーム設置委託、大学と連携した海外展開調査委託
その他需用費	670,000	620,000	50,000	パンフレット等作成費、展示・交流スペース消耗品等
使用料及び賃借料	5,366,000	5,662,000	▲ 296,000	共同出展ブース借上料
旅費	640,000	816,000	▲ 176,000	共同出展旅費
食糧費	0	77,000	▲ 77,000	
役務費	0	545,760	▲ 545,760	
補助金	5,600,000	5,600,000	0	普及促進・評価補助、展示会出展補助
6 コーディネータ配置事業	4,000,000	4,000,000	0	
給料	2,880,000	2,880,000	0	コーディネータ給与
職員手当等	235,200	235,200	0	コーディネータ通勤手当
共済費	463,000	463,000	0	コーディネータ社会保険料等
旅費	25,200	25,200	0	コーディネータ旅費
使用料及び賃借料	396,600	396,600	0	レンタカ一代
7 オープンイノベーションの推進	3,487,848	7,700,000	▲ 4,212,152	
委託料	1,260,000	7,700,000	▲ 6,440,000	カンファレンスパーク対応の委託費用、医療機器評価ラボの委託費用
使用料及び賃借料	1,216,000	0	1,216,000	メディバレーおおいたの貸料など
報償費	232,000	0	232,000	イノベーションプログラム話題提供者謝金など
旅費	387,600	0	387,600	イノベーションプログラム話題提供者旅費など
役務費	235,000	0	235,000	通信費、メディバレーおおいた展示物保険料
その他需用費	157,248	0	157,248	
当 期 支 出 合 計 (B)	68,515,387	94,402,336	▲ 25,886,949	
当 期 支 出 差 額 (A) - (B)	0	0	0	